



ふる里 5・6月号 はまわき

第390号 令和7年5月1日発行

発行・編集

浜脇コミュニティ委員会



混ぜ具合が難しい

はまわきっこクラブのイベント♪ 西宮で人気のうどん店「天ノカマ」とのコラボ企画「うどん作り体験」が、2月16日に浜脇公民館調理室で行われました。

天ノカマの店主から、粉から作るうどん作りを教えてくださいました。

まず初めに取り組んだのは、粉と水と塩を手で混ぜる工程。混ぜるだけなのに、一番難しく手間が掛かります。手でく

**はまわきっこクラブ
うどん作り体験**

に持ち帰り、店主が用意した生地を切って試食タイム。大変な工程もありましたが、粉から作るうどんを家族で楽しみました。

小麦粉、水、塩だけで、も



足でフミフミ

るくると混ぜ、ぼろぼろとした状態にするのですが、ついついハンバーグを作るようにこねてしまう子もいました。それでも根気よく混ぜ続け、最後にはちゃんと一塊になりました。

次に、「しつかりとビニール袋に入れ、足で踏んでいきます」と言う店主の言葉に「え？ 踏むの？」と驚く子、「踏んで良いの？」と戸惑う子、早く踏みたくてワクワクした目で袋に詰めていく子、それぞれのペースでうどん作りが進んでいきます。

自分たちが作ったものは家

ちもちとしたおいしいうどんが出来上がることを知り、楽しくうどん作りを体験しました。



おいしい～



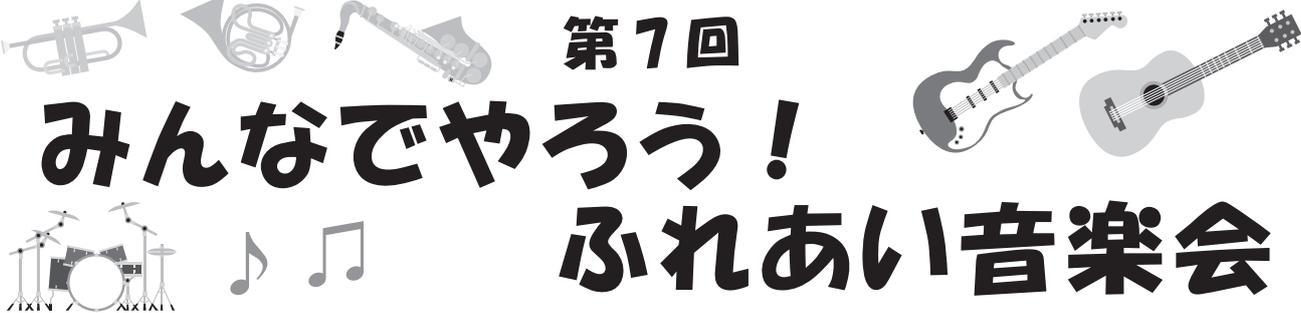
同じ大きさに切れるかな

◇祈り、安らぎ、永遠、そしてあなたらしさ…。心を大切にしてお墓作りを考えています◇

有限会社 中原石材工業所 代表取締役 谷本 俊和

事務所・工場 西宮市名次町12-27 (満池谷墓地正面西約200m)

TEL 0798-73-5334 FAX 0798-70-5200



第7回 みんなでやろう！ ふれあい音楽会



今津フレンドリーキッズ30人の演奏♪
『川の流れのように』『上を向いて歩こう』など懐かしい曲に観客もノリノリでした

地域で活動する皆さんによる楽器演奏会「第7回みんなでやろう！ ふれあい音楽会」が、浜脇公民館地域学習推進会、浜脇・香櫨園交流ひろばの会の共催で3月2日、浜脇公民館講堂で開催されました。

第1回から連続出演の小学
生金管バンド「今津フレンド
リーキッズ」をトップバッタ
ーに、同級生バンドグループ
や公民館で活動するグルーブ
親子、ファミリーなど13組が
演奏しました。



▲オカリナの音色にとっても癒やされました▼



洋楽ロックかっこいい！



金管バンド、軽音バンド、
デジタルサククス、オカリナ、
しの笛、ヘルマンハーブ、ア
コースティックギター、フル
ート、ピアノ、ひょうたん笛、
トランペット、二胡など、た
くさんのいろいろな種類の楽
器が登場しました。
見たことも聞いたこともな
い楽器もあり、たくさんの
音色に触れることができました。



ファミリーでの演奏、すてきでした



浜脇中学校吹奏楽部72期生のメンバーが、二十歳を迎えた記念に集まって演奏しました

10年前に「浜脇香櫨園ふれあい音楽会」の名称でスタートし、7回目を迎えましたが、今回が最後の開催となりました。満員御礼で、大盛況でした。老若男女、皆さんのすてきな演奏を聴くことができ、とても幸せな時間でした。

はまわきびと 25

浜脇中学校の同級生で結成 The Kings



メンバー紹介(右写真) 右からボーカル&ギター&ピアノのリバース希茜君、ドラムの岸本颯真君、ギターの松下哲平君、ベースの下江弦君

令和3年、4人が小学5年生の時、イギリスのロックバンド・クイーンに憧れて、リバース希茜君と松下哲平君がバンドを結成しました。その後、下江弦君が、令和5年9月に岸本颯真君が加入し、現在の体制になりました。ビートルズやクイーン、オアシスなど、洋楽ロックの曲をカバーしています。



「バンド甲子園」での演奏

昨年は、こうしえんまちなかフェス実行委員会主催の「バンド甲子園」に出場して予選通過！本選に進みましたが、惜しくも入賞とはなりませんでしたが、「本当に中学

生？と思うほどの演奏でした」と褒められました。3年前から「ふれあい音楽会」に参加しており、今年はビートルズの「A Hard Day's Night」やオアシスの「Don't look back in Angar」など3曲を演奏。中学生とは思えない歌声と演奏を披露しました。



中学校を卒業しました

3月に浜脇中学校を卒業し、別々の高校に進みますが、これからもバンド活動を続けていくそうです。「宇宙革命！世界一売れたバンドになる」と大きな夢を語りました。

3月30日には、香櫨園教会で初めてのワンマンライブを開催し、満員御礼、大盛況でした。

芥川賞作家・小川洋子さん来校

浜脇中学校では、教育現場で新聞を活用する「NIE」（教育に新聞を）に全学年で取り組んでいます。

今年の夏に開催される「第30回NIE全国大会神戸大会」で記念講演する芥川賞作家の小川洋子さんが、1月30日に浜脇中学校を訪れ、「NIEノート」の授業や「住み続けられるまちづくり」を考えるアイデア発表会を參觀しました。



生徒と一緒にNIEノートの授業に参加する小川さん



グループでの話し合い

小川さんは、グループに入っ
て生徒の話し合いにも参加
しました。授業を見学した小
川さんは「自分が生きている
世界の広さを実感できる授業
だと思った。新聞を読む習慣
をつけていけば、見た物や感
じたことを言語化する能力に
もつながると思う」と話しま
した。

浜脇中学校は兵庫県代表と
して、7月31日、8月1日に
開催される「第30回NIE全
国大会神戸大会」で公開授業
を行います。

◎NIEとは

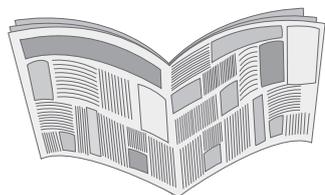
News paper In Education
（教育に新聞を）の略。学校
などで新聞を教材として活用
する教育活動のこと。

浜脇中学校では、NIEノ
ート活動を通して生徒が日頃
から新聞やニュースに触れ、
社会的な事象を考え、地域課
題に向き合うことで主権者と
しての学びを深めています。

週1回、自宅で新聞記事を
選んで感想を書き込む「NIE
Eノート」に、全校生徒約
800人が取り組んでいます。
各クラスで社会科授業の冒頭
にプレゼンテーションをし、
意見交換しています。

令和元年度に導入し、令
和3年から全学年に広げまし
た。

浜脇中学校は、日本新聞協
会のNIE実践指定校です。



台湾の中学生との交流

台湾の桃園市立福豊国民中
学校の修学旅行生が、2月26
日に浜脇中学校に来校し、生
徒と交流をしました。

3グループに分かれて、英
語、社会、体育の授業を一緒
に受けました。言葉の壁はあ
りましたが、英語やタブレッ
トの翻訳機能、ポディーラン
ゲージを駆使して交流しまし
た。

短い時間でしたが、生徒た
ちは互いに良い体験となつた
ようで、最後の見送りの時に
は、とても楽しそうな表情で
別れを告げていました。この
ような親睦の機会を持ち、他
国の人々を身近に感じること
が、本当の意味での国際理解
につながるでしょう。



ようこそ日本へ



楽しく交流できました